授業科目名・形態	公衆衛生看護技術論　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	川村　泰子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期
科目ナンバリング	N6-3018pmht				

【授業の主題】

地域で暮らす人々の健康と生活を支援するための看護の展開方法と技術を習得する。個人・家族・集団に対する支援活動の基本的な技術である健康相談、家庭訪問、健康教育について理念・理論および方法と技術を習得する。

【到達目標】

1．地域で暮らす人々を対象に展開する健康相談・家庭訪問・健康教育の目的および特徴を理解できる。
2．健康相談・家庭訪問・健康教育の展開方法を理解できる。
3．健康相談、家庭訪問、健康教育の実施にあたり倫理的配慮ができる。

【授業計画・内容】

第1回　公衆衛生看護活動における保健指導の主な技術
第2回　健康相談　健康相談（目的・対象・特徴・展開方法）
第3回　健康診査、ICT を用いた保健指導
第4回　家庭訪問（1）　家庭訪問の目的・対象・技術
第5回　家庭訪問（2）　演習1　家庭訪問の実際（訪問計画立案）
第6回　家庭訪問（3）　演習2　家庭訪問の実際（シナリオ作成）
第7回　家庭訪問（4）　演習3　家庭訪問の実際（ロールプレイ）
第8回　家庭訪問（5）　演習4　家庭訪問の実際（演習発表会）
第9回　家庭訪問（6）　評価、まとめ
第10回　健康教育（1）　健康教育の準備、実施、評価、自立支援、組織化への支援
第11回　健康教育（2）　演習1　計画立案（企画書・指導案の作成）
第12回　健康教育（3）　演習2計画立案（企画書・指導案の修正，媒体の作成）
第13回　健康教育（4）　演習3実施準備（媒体等の完成，デモンストレーション）
第14回　健康教育（5）　演習4グループ発表
第15回　健康教育（6）　評価、まとめ

【授業実施方法】

講 義、演 習（グループで作成したシナリオに基づいて家庭訪問のロールプレイを行います。2 年次の学習を活かして健康教育の実践を行います）

【事前・事後学習】

事前学習として既習の健康教育論で配布された授業資料を復習すること（毎回30分以上）。積極的に演習に参加してください。学習してきた看護の知識が土台になるので、必要に応じて復習しグループワークに臨んでください。

事後学習として講義内容を踏まえ復習を毎回30分以上行うこと。

【主な関連する科目】

小児看護学、母性看護学、公衆衛生看護学概論、健康教育論

【教科書等】

保健学講座　公衆衛生看護支援技術、メヂカルフレンド社

【参考文献】

随時、資料の配布や参考図書を紹介する

【成績評価方法】

2/3 以上の出席者につき受講態度等（5%），演習内容・提出課題（35%），定期試験の成績（60%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

教員自身の実務経験で得た体験や事例を紹介しながら講義を進めていきます。

【学生へのメッセージ】

公衆衛生看護技術の展開方法を習得し実習に活かしてください。地域で暮らす人々の健康と生活を支援する技術の学習です。4年の実習にもつながっていきます。